## 第5部課題

第15回

毎日パソコン入力コンクール

とう き たいかい 冬季大会

かだり、といる。

だい ぶ りぶん ちゅうがくせい 第5部 和文A 中学生

オーロラは宇宙の火花

世いげんじかん ふん 制限時間5分

【コンクール当日の注意事項】

1. この用紙を拡大・修飾などして、当日使用しても問題ありません。

2. 団体責任者の指示にしたがい、18桁の参加番号を半角数字で入力してください。

3. 課題の入力はすべて全角文字でおこなってください。スペースと改行も字数に数えます。 ただし最終行はのぞきます。

※この課題は、毎日新聞社 月刊Newsがわかる 2015年2月号「オーロラは宇宙の火花」、同7月号 「大豆は栄養のかたまり」より引用しました。 (文字数 1,980字程度)

きない まいにちしんぶんしゃ 主催 毎日新聞社

いっぱんしゃだんほうじん にほん 一般社団法人 日本パソコン能力検定委員会

たうえん そうむしょう **後援 総務省** 

もんぶかがくしょう 文部科学は 学者 サロスララ とよう リロスラー リロスカー リロスカー リロスカー メロスカー 

## ※ **→** の箇所で改行 (Enter) してください。

オーロラは宇宙の火花**┛** 

「オーロラは、地球が宇宙で戦っている時の火花です」

マメリカ・アラスカのオーロラの映像を生中継で配信する会社を経営するエンジニアの古賀祐三さんは意外なたとえを口にする。

まず、地球の中に大きな棒磁石が置かれていると想像してほしい。北極側がきょく なんきょくがわ きょく なんきょくがわ さょく なんきょくがわ さょく なんで南極側はN極。そんな巨大磁石のつくり出す磁場が地球をおおっている。

そこへ太陽が電気をおびた粒子を吹きつけてくる(この現象を太陽風という)。たいていの粒子は磁場にはねかえされるが、地球に入りこんでくるものもとり、磁力の向きを示す磁力線に沿って北極と南極に分かれていく。その時に、空気中の酸素や窒素にぶつかって光るのがオーロラだ。極地あたりにしか出現しない理由、これでわかった?

現しない理由、これでわかった?

「宇宙空間は非常に過酷です。地球は太陽風や宇宙放射線などたくさんのエネルギーにさらされている。オーロラが明るい時は、地球のまわりの環境がきびしくなっている状況です。」と古賀さん。

■

太陽の活動がさかんになるほどオーロラも活発になる。万一オーロラを起こすほど高エネルギーの粒子が地上に降ってきたら、生きものはひとたまりもない。磁場による防御はもちろん、大気をまとって強烈な粒子や光線を弱めているからこそ、地球は生命の星であり続ける。 ◀

にはないではオーロラの色は緑が中心。まれに北海道で観測されたことがあるが、その場合は赤に限られる。オーロラの色は発光の高さと大気が、分によってちがう。太陽の粒子と酸素がぶつかると赤か緑に光るが、波長の関係で赤は緑より高い高度で発光する。そのため高度200キロ以上のオーロラは赤、それ以下では緑になる。青紫やピンクも見られるが、こちらは窒素がつかって光った色だ。 ■

古賀祐三さんは、約20年前の大学生時代にアラスカでオーロラ爆発に出合い、人生を決定づけるほどの衝撃を受けた。現在は東京都内で会社を経営。エンジニアとしての技術を駆使してオーロラの映像を24時間配信するシステムを独力でつくり上げ、「地球のカッコよさ」を伝えるビジネスを展開している。そんな古賀さんにメッセージをもらった。

ではくがみなされば、できるようになるということは、世界では、いろいは、世界では、からになるということです。そうなれば、はずりのでは、からななままがらのできるようになるということです。そうなれば、たらなりでは、からない。とは、ままりのでは、いろいが、たいのでもでは、いろいが、たいのでもでは、からない。あこがれをもって現地に行き、リアルに体感しているに行ってみてください。あこがれをもって現地に行き、リアルに体感しているに行ってみてください。あこがれをもって現地に行き、リアルにならになってはくが、からはそれがアラスカでオーロラでした。目的でもできるようになります。

**₽** 

大豆は栄養のかたまり┛

にほん でんとうしょく たいず 日本の伝統食・大豆には大豆たんぱくや食物せんいのほか、体を若く保つサポニン、ビタミン、ミネラルなどがバランスよくふくまれている。特筆すべきは特定保健用食品(トクホ)で認められた特有の体によい成分が6つもあること。これほどのスーパー食材はほかにない。 → たいず せいぶん

世界人口が73億人にふくれ上がる中、8億500万人が食料不足ではいる。一方で、高カロリーのファストフードなどによる太りすぎが途上国にすで広がっている。このような食料問題を大豆が救うと期待が集まっている。ところが青くささやくせのある風味が災いして、外国ではたくさん栽培されているわりに食卓に上っていない。食品用は総生産量の5%にすぎず、大半が油を取るだけ。しぼりかすは家畜の飼料になっている。世界一大豆が食べられている日本でも需要量は減る傾向にある。